

令和元年度 教育行政の点検評価 (平成30年度実績)



明治150年記念事業（平成30年8月25日）

「歴史講座 “明治維新と四境の役”」

平生町教育委員会

目 次

主要施策の成果（学校教育）	1
園・学校施設整備事業	4
学力向上推進事業	6
生徒指導環境整備事業	8
学び支援事業	10
平生っ子学びのイノベーション事業	12
主要施策の成果（社会教育）	14
明治150年記念事業	19
平生町成人式	21
平生町秋の文化行事	23
未来を担う平生っ子の育成促進事業	25
勤労青少年ホーム教養講座	27
スポーツ推進事業（町内駅伝競走大会）	29

学校教育

基本方針：未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成

学力の向上と確かな「生きる力」の育成

全国学力・学習状況調査の実施にあわせ、小学校 4、5 年生、中学校 1、2 年生を対象に町の学力調査を実施した。この調査結果に基づき、年度当初に対象学年の児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することで、その後の指導や家庭学習の改善等に役立て、あわせて学校と家庭が課題を共有することで、学力の向上に資することができた。

図書館司書の資格所持者を学校司書として小中 3 校で 2 名継続配置した。司書教諭の補助的な役割を担ってもらい、学校図書館を活用する学習活動が円滑に行われた。

平生っ子学びのイノベーション推進事業として、平成 30 年度は、佐賀小学校に電子黒板、平生小学校に教員用タブレット端末、平生中学校に電子黒板を導入し、ICTを活用した「わかる授業」の実践や、児童の「情報活用能力」の育成に努めた。

今後、年次的に平生小学校へ児童用のタブレット端末、平生中学校へ教職員、生徒用のタブレット端末の整備を進め、学力の向上につなげていきたい。

学び支援事業として、実用英語技能検定の検定料の 1/2 を助成することで子どもたちの自発的な学習意欲を喚起し、学力の向上を図った。

英語指導助手（ALT）2 名体制で、中学校及び小学校の英語教育の充実を図った。

令和 2 年度から、小学校での外国語教育が始まることから、学習指導要領を踏まえた外国語教育を充実させたい。

スクールソーシャルワーカー（SSW）配置事業に引き続き取り組み、課題のある家庭への迅速かつ適切な支援に資するため、専門相談を行い、各学校の実情に応じた支援体制の充実を図った。また、SSWによる「共育相談会」を開催し、教育相談及び就学相談を行った。

不登校やいじめ防止、あたたかな人間関係づくりのため質問紙調査「i-check」を小学校 5,6 年生、中学校 1～3 年生を対象に実施し、不登校やいじめなどの早期発見や予防対策に活用している。

安全・安心な教育環境の整備

児童及び生徒の熱中症対策として、幼稚園の保育室、小中学校の普通教室及び特別教室に空調設備を設置した。幼稚園は保育室 3 部屋、佐賀小学校は普通教室 7 部屋、会議室 1 部屋、平生小学校は、普通教室 6 部屋、特別教室 2 部屋、平生中学校は、普通教室 11 部屋、特別教室 1 部屋に設置した。

国の交付金（平成 29 年度繰越事業）を活用し、平生小学校第 3 校舎普通教室棟 1 階のトイレ改修を実施した。これにより、小中学校の普通教室棟のトイレ改修が全て終了した。

平生中学校において、防火シャッター改修工事、プールろ過機更新工事を実施したほか、給水設備が老朽化していることから設計業務委託を予算計上し、令和元年度から 2 ケ年計画で改修工事を実施することとした。

幼・小・中の連携

幼保小中連絡協議会で入学の際の子どもに関する情報交換、相互の授業参観の重要性を確認し合い、連携を強化した。

幼小連携として、小学生と幼稚園児の給食試食会や小学生が幼稚園児を誘導しながら避難する合同避難訓練を行った。

小中の連携としては、全教職員の参加による合同研修会を開き、学力向上や授業の改善について協議することで交流を図った。

特別支援教育の充実

小中学校に学校支援員 13 名を配置し、学習習慣の定着や個別指導の充実など、学力の向上を目指した指導を行い、個に応じたきめ細かな配慮のある教育を推進した。

家庭・地域との連携

町内小中 3 校のコミュニティスクールの活発化により、地域と連携した特色ある学校づくりが進んでいる。

3 校相互の情報提供、情報交換をはじめ、教育委員会からの情報提供を行うため、小中合同の学校運営協議会を実施している。各校で連携をとることにより、学校と地域が一体となった取組みを進めていくことを確認した。

また、幼稚園においても地域の支援ボランティア活動が盛んで、地域ぐるみで子どもたちを育てていく体制づくりが進んでいる。

特別活動の推進

キャリア教育推進事業では、「ふるさとの先輩から学ぶ講演会」として、5月に日本電子計算株式会社取締役常務執行委員による講演会を平生中学校において開催した。「デジタルで変わる」と題して、人工知能や自動化が進んでいく時代だからこそ、失敗を恐れずに自ら考え行動し、描いた夢に向かってみなさんの手で未来を作ってほしいと、生徒たちにメッセージを伝えられた。

子どもたちがふるさとに誇りと愛着を持ちながら、夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう意欲や態度、能力の育成を図ることができた。

就学に関する支援等

私立幼稚園に就園している園児の保護者への幼稚園就園奨励費、小中学校のいる家庭で学用品費、給食費、修学旅行費用などに対して一部助成をする就学援助費、遠距離通学者のための遠距離通学費など、保護者の経済的負担を軽減するために助成事業を実施した。

就学援助費のうち、新入学児童生徒の入学準備金については、従来の支給時期を前倒して、入学前の3月初旬に支給することで入学に際しての家計の負担軽減に取り組んだ。

平成30年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	安全・安心な教育環境を保障し、信頼される学校をつくります。		
事業名	園・学校施設整備事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	学校施設(幼稚園含む)は、子どもたちの学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための施設であることから必要十分な教育活動が行える機能や環境整備を整えるとともに、防犯・防災性を備えた安全・安心で衛生的な施設の確保を図る。 特に平成30年度は近年課題となっている熱中症対策に配慮した事業を行った。		
事業の内容	○工事 ・平生小学校普通教室棟トイレ改修 ・平生中学校プールろ過機更新 ・平生中学校防火シャッター改修 ・平生幼稚園トイレ改修 ・平生小・中・幼稚園空調機整備 ・(給水設備改修設計業務:委託料) ○修繕 ・各小中学校及び幼稚園において、老朽箇所、破損箇所等の修繕		
事業の対象	幼稚園、小学校、中学校		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	13,710 千円	57,116 千円	42,960 千円
決算額に占める特定財源額	3,700 千円	10,776 千円	23,904 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>校舎及び付帯設備の老朽化が激しく、改修工事、修繕の必要な箇所が増えている中、年次的に工事・修繕を実施することにより、子どもたちの学習環境等の安全を確保している。 衛生面の観点から、国からの交付金を活用し、小学校・幼稚園のトイレ改修を行った。 また、熱中症対策として、学校衛生管理基準に基づき、平生小・中・幼稚園に空調機を設置した。 今後も、平成30年3月に策定した学校施設の長寿命化計画(個別施設計画)に基づき、校舎及び付帯設備の改修を進める必要がある。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は子どもたちが多くの時間を過ごす施設であることから、常に安心安全を念頭に管理されたい。 ・健康管理の面からも衛生施設の充実を図られたい。 ・有効な助成制度を模索し、財源確保に努められたい。
-------------	-----------------	---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	学力向上推進事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	学力向上を図るために、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することに努め、課題解決に向けて、学校と家庭・地域等と一体となった取組を推進する。		
事業の内容	<p>標準学力調査は22年度から実施しており、児童生徒の学習到達度を評価するとともに、個人成績、学校用の資料提供を受ける。</p> <p>また、学力調査と併用して子どもたちが輝くクラスづくりのための総合質問紙調査「i-check」を実施する。</p> <p><標準学力調査の対象学年と教科></p> <p>○小学4年生 国語、算数 ○小学5年生 国語、算数</p> <p>○中学1年生 国語、数学、理科 ○中学2年生 国語、数学、理科</p> <p><i-check:対象学年></p> <p>○小学5年生、6年生</p> <p>○中学1年生、2年生、3年生</p>		
事業の対象	児童生徒およびその保護者		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	420 千円	461 千円	463 千円
決算額に占める 特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>・標準学力調査 小学校6年生と中学校3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査や県の確認問題等と併せての実施している。昨年度との経年比較により、数値の増加が見られることから着実に学力の向上が見られる。また、学校現場の負担の軽減も着実に図られている。</p> <p>・子どもたちが輝くクラスづくりのための総合質問紙調査「i-check」 平成29年度から、「i-check」により、小5、6、中1～3を対象に2回実施した。不登校やいじめなどの予防対策をはじめ、学級の概要、児童生徒の個々の実態を把握することができ、生徒指導に活用している。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</p> <p><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了</p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・調査によって得られた結果に基づききめ細かな対応により、学力向上を図りたい。</p>
-------------	-----------------	---------------	-----------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます		
事業名	生徒指導環境整備事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	園・学校間の連携によるつながる子どもの育ちに向けた取組を充実するとともに、学校における生徒指導、教育相談体制を充実させ、児童生徒の心の成長を促す指導を推進する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連絡協議会研修会 心豊かでたくましい「平生っ子」の育成をめざして、園・学校関係者による年3回の協議会や公開保育・授業公開により情報交換を実施。 ・小中合同研修会及び出前授業 小中9年間を見据えた教育を推進するために、小中学校教員参加の合同研修会や中学校教員の小学校への出前授業を実施。 ・i-check(子どもたちが輝くクラスづくりのための総合質問紙調査) 不登校やいじめの未然防止や学校内の人間関係の把握・改善のために、小学5・6年、中学1～3年を対象に総合質問紙調査を実施。 ・SSW(スクールソーシャルワーカー) 課題のある児童生徒や家庭への支援のために、教育委員会にSSW(スクールソーシャルワーカー)3名を配置。 		
事業の対象	佐賀小学校、平生小学校、平生中学校		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	712 千円	915 千円	659 千円
決算額に占める特定財源額	439	439 千円	390 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

判定説明考察	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連絡協議会研修会 園・学校関係者が参加し、取組の成果やそれぞれの課題、子どもたちの状況等について情報交換・協議を行い、幼保小中連携した全町あげでの取組となっている。 ・小中合同研修会及び出前授業 小中の教員同士の情報交換や課題意識の共有化を図るとともに、15歳の生徒像の共有化を図ることができ、今後の方向性について考えることができた。中学校教員による出前授業により、小学校高学年の子どもたちが抱える中学校での生活や授業への不安を解消するための手立てとして有効である。 ・町学力調査結果と『i-check』の相関関係から、学力向上を多角的に捉え、『たくましい平生っ子の育成』を推進していくための取組の方針を考えることができている。また、児童生徒一人ひとりの自己肯定感や規範意識などを把握し、それを生かした学級経営や学級づくりに生かしている。 ・SSW(スクールソーシャルワーカー) 教育委員会に3名配置し、課題のある児童生徒や家庭への支援のために、学校、教育委員会とSSWが連携しながら、対応にあたっている。社会福祉士という専門的な立場からの助言や家庭支援のための具体的な働きかけにより、着実な成果が見られる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	A	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWなど専門職の技術を生かすことで、各種会議を有意義なものにされたい。 ・研修会で意義を高め生かす努力をすることで資質向上を図られたい。
------	----------	--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	学び支援事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	平生町の子どもたちの自発的な学習意欲を支援するため、英語検定の受検を促し、英語力の向上を目指すこと及び保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的として、検定料助成金を交付する。		
事業の内容	実用英語技能検定の検定料の1/2を助成する。(1年間に1人1回分を助成する。)		
事業の対象	平生中学校		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	79 千円	82 千円	97 千円
決算額に占める特定財源額	—	— 千円	— 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	B	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる

判定説明考察	<p>助成金対象の受検者は3学年合計で71人で、年複数回、受検する生徒もあり、延べ受検者は103人で、昨年度に比べ25人の増加となっている。</p> <p>高校生1・2年生レベルの準2級を受検し合格する生徒がいた。</p> <p>また、平成29年度合格率65.4%から67.0%と1.6ポイント上昇し、一定の成果がでていると思われる。</p> <p>急激な社会情勢の変化を背景に、より実践的な英語運用能力の育成が重要になっていることから生徒が直接、外国人講師とつながり英会話を行うオンラインシステムを授業に導入することについて新たに検討することに伴い、現制度の休止、廃止について併せて検討したい。</p>
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	A	評価委員意見	<p>・英語教育が重要視される中、挑戦の機会を与える事業として継続が望ましい。新しい取組みも必要と考えるが、本事業については町の特色として生かすべきである。</p>
------	----------	--------	------------------------------------------------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	平生っ子学びのイノベーション事業(ジャンプ)		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	社会の情報化が急速に進展し、今後も更なる情報通信技術(ICT)の発展が予想される中、学校においてもICTを活用した「わかる授業」の実践や、児童生徒の「情報活用能力」の育成、校務の効率化等のニーズが高まっていることから、学校のICT化を図る。		
事業の内容	平生小学校:タブレット端末25台(教員用) 佐賀小学校:電子黒板1台、書画カメラ1台 平生中学校に電子黒板6台、書画カメラ1台、パソコン6台を導入		
事業の対象	平生小学校、平生中学校		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	1,390 千円	1,507 千円	740 千円
決算額に占める特定財源額	—	— 千円	— 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る

<p>判定説明考察</p>	<p>平生っ子学びのイノベーション推進事業(3カ年事業)として、3年目の平成30年度は、平生小学校にタブレット端末、平生中学校に電子黒板、書画カメラ、佐賀小学校に電子黒板を導入し、ICTを活用した「わかる授業」の実践や、児童・生徒の「情報活用能力」の育成に努めた。</p> <p>新学習指導要領において、情報活用能力が言語能力、問題発見・解決能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけられていることから、各学校において、コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整えていく方針である。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・現代の学力向上に必須の事業である。 ・ICT関係事業は他の自治体も取り組んでいくことから、常に先取りする意識を持たれたい。 ・メディアコントロール(特に家庭内)の重要性を徹底されたい。</p>
-------------	---------------------------------------------	---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

社会教育

基本方針:学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進 と学習成果活用の促進

青少年健全育成活動の推進

・青少年の犯罪防止と交通安全を目的に、育成センター車による見回りや、防犯ボランティアによる月2回の夜間防犯パトロールを実施した。なお、夜間防犯パトロールについて、集合場所を平生まち・むら地域交流センターから平生幹部交番に変更したことにより、警察官と共同での実施が可能となり、パトロールの強化に繋がった。

・地域の青少年の健全な育成を図ることを目的として平成24年度から実施している「未来を担う平生っ子育成促進事業」では、30年度も全7地区から申請があった。どんど焼きや餅つき、工作教室、クリスマス会など多様な事業を実施し、各地域で3世代に渡る交流を図ることができた。

・町子ども会活動については、「夏休み企画」子ども会研修旅行を8月に実施した。由宇青少年自然の家において実施した研修旅行では、37人の児童とその保護者の参加があり、研修施設の指導者により七宝焼き作りを行った。また、七宝焼きの焼き上がりを待つ時間を利用してインラインスケートを体験した。子どもたちは、作業や遊びを通して他校の児童や異年齢で交流を図ることにより、交友範囲の拡大や協調性の向上が図られるなど、夏休みの良い思い出づくりの場を提供することができた。また、2月には、子どもたちやその保護者が参加し、長い巻きずし作りを曾根地域交流センターで実施した。子どもたちと保護者に共同作業の面白さと達成感を体験してもらえた。

・30年度14歳を迎える中学2年生を、地域・家庭・学校が連携してお祝いするため、平生町青少年育成町民会議と平生町教育委員会、平生中学校の共催により、第5回「立志の集い」を平生中学校体育館において開催した。保護者や地域の方々が見守る中、中学2年生全員が自分の志を発表し、生徒は目標を定める事や、学びへの意欲の大切さを再認識することができた。

・平成31年平生町成人式を平生町武道館において開催し、133人の対象者のうち100人の新成人が出席した。30年度は、式典後の記念行事の中で、地域振興課と連携し、町内で夢を持っていきいきと働く若者の様子や新成人への御祝いメッセージを収めたPR動画を制作・上映するとともに、本町のふるさと納税返礼品提供事業者から無

償提供いただいたお祝いの品が当たるお楽しみ抽選会を行うなど、町全体で新成人を祝うことができた。

・スポーツ少年団については、加入年齢が6歳から3歳へ引き下げられたことから、全団が集う交流大会にて、アクティブチャイルドプログラムの研修会を行い、幼児受け入れのための体制を進めた。

生涯学習の推進

・平生町の秋を代表する文化イベントとして多くの人に親しまれている平生町総合文化展が平成30年度に50回目を迎えた。10年毎の節目に実施している記念表彰では町長感謝状を9人、教育長感謝状を7人の方々に授与し、平生町の文化活動や生涯学習の発展に多大な貢献をされた方々に感謝の意を表した。

・生涯学習の推進については、町民憲章の第1項「自然を大切にし 環境をととのえ美しいまちをつくります」の具現化に向けて、取組みを展開した。30年度も啓発ポスターや標語募集を行い、ポスターについては76点、標語については、385点と多くの応募があった。優秀作品については、秋の文化行事期間中に花いっぱい運動の優秀団体とともに、生涯学習表彰式において表彰した。

・生涯学習まちづくり出前講座については、各小学校や地域の団体からの申し込みがあり、延べ33団体、739人が受講した。また、広報に掲載している生涯学習推進だよりのコーナーでは、各地区の地域交流センターや勤労青少年ホーム利用団体について毎号2団体の紹介を行い、利用団体の会員数の増加と活性化を図った。

人権教育の推進

・人権教育と啓発を推進する事業として、平生町人権学習講座を3日間にわたり開催した。1日目は、心理カウンセラーの阿波ひろみさんをお迎えし、「命をみつめて～生まれてきてくれてありがとう～」と題した講演会を開催した。2日目は、ヒューマンネットワークゆいの代表である岸かおるさんをお迎えし、「きらりと輝く わたしの人生！～人生の終わりを考えてみましょう～」と題した講演会を開催した。3日目は「フィルムフォーラム」を開催した。DVD教材「あした咲く」を視聴した後、一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりについて考え、議論を深めた。3日間の開催中、延べ102人の受講があり、人権意識の高揚を図ることができた。

・人権コラム「つながり めくもり」を毎月広報ひらおへ掲載し、3月号で99回を数えることとなった。また人権教育の推進を図るため、研修等に参加し人権意識の深化を図った。

文化活動の推進

・平成30年は、明治150年を迎える年であったことから、全県的に明治150年を記念する様々な事業が開催された。平生町では、郷土の維新の志士である「白井小介」に関するパンフレットの作成や案内看板の設置により、機運の醸成と事業のスムーズな推進を図った。

・10月10日、第53回平生町音楽鑑賞会を開催した。出演者に「混声四重唱団マーシャル727Neo」をお迎えし、小編成の混声四重唱団にピアノ伴奏を加えたコンサートを開催した。佐野正一氏ほか3人にピアノ伴奏も加わり、歌唱やオペラを含む様々なジャンルのプログラムにより声楽の持つ魅力を来場者に届け、芸術文化に対する意識の醸成を図った。小学生及び中学生を対象に開催した昼の部では、出演者と小学生や教諭がオペラや歌唱を共演するコーナーを設けるなど、子ども達にも親しみやすい雰囲気の中、本格的な声楽の持つ魅力を伝え知ってもらうことができた。

社会教育施設の整備

・平成29年度に引き続き平生町勤労青少年ホーム・トレーニングルームの照明についてLED化を図った。また、老朽していたサッシのシーリング交換を行い、来館者の安全を確保した。なお、利用者の不便を解消するため、平生町勤労青少年ホームを平生まち・むら地域交流センターに統合し所管を教育委員会から地域振興課へ移管した。

・体育施設においては、スポーツレクリエーション公園の木製複合遊具について腐食が進行し穴が開いたため、穴あき溶接、塗装および安全柵増しなどを行い、安心して利用できるよう改善した。また堀川公園にある、すべり台が老朽化により、危険を生じたので、溶接補強・支柱地際補強・全塗装等の改修工事を行った。

読書活動の推進

・子どもの読書活動の推進については、子どもたちが自主的に読書習慣を身に付け、生涯にわたって本と親しむことができる環境づくりを推進するため、「第二次平生町子ども読書活動推進計画」により次の事業を実施した。

・家庭教育における子どもの読書活動の推進を図るため、10月29日に家庭教育アドバイザーの熊丸みつ子氏を講師に迎え、平生幼稚園において講演会を開催した。「大丈夫！子育て順調よ！」と題した講演会では、保護者や一般の方50人が参加した。楽しい雰囲気の中での笑いや涙ありの講演は、参加者から「幸せな気持ちになった」などの感想も聞かれるなど大変好評を得ることができた。

- ・「夏休み子ども移動図書館 子ども文庫」を開催し、夏休み期間中の読書環境の充実に努めた。また、「児童向け移動図書館」として、小学校へ1,350冊の配本を実施した。「一般向け移動図書館」では、リクエストに応じた本の配布を行うと共に、館内の展示コーナーや掲示板・広報で新着本の紹介を行い、読書機会の拡大を図った。
- ・本に親しむイベントとして、ひらお図書館まつりを10月に開催した。「本のリサイクルコーナー」や「平生町おはなし会」によるお勧めの絵本の紹介コーナーなどのほか、絵本読み聞かせ講座として、光市のボランティアグループ「エプパネ」による「わくわく♪エプロン・パネルシアター！」の催しや紙芝居のイベントにより、多くの来館者を迎えることができた。

歴史民俗資料館

- ・明治150年記念事業として、7月13日から12月23日までの間、特別展示「白井小介展」を開催した。周南の独眼竜と呼ばれた白井小介の生涯を年表や写真等のパネル展示により、町内外の来館者に紹介した。期間中、600人を超える入館者があり、明治維新に活躍した平生町の維新の志士について、広く情報発信することができた。

8月には大島商船高等専門学校准教授の田口由香先生をお迎えし、「明治維新と四境の役」と題した歴史講座を開催した。講座には85人に及ぶ多くの来場者があり、平生町の歴史について理解を深めることができた。

また、歴史民俗資料館では2月から3月にかけて水墨画展を開催した。曾根墨遊会の皆さんが作成された、紙・墨・水の融合による水墨画を展示し、地域文化の向上と文化団体の活性化を図った。

阿多田交流館

- ・阿多田交流館は、当時を偲ばれるこの地に平成16年に開館し、平和教育の学習の場や、地域交流の場として活用されており、30年度は約3,100人の来館者があった。8月には、終戦の日に併せ、阿多田交流館がテレビ局の取材を受けた。KRY山口放送による午後5時からの生中継では、交流館の調査員が人間魚雷回天や館内資料を説明した。この中継により平生の地から県内の視聴者に向け、戦争の悲惨さと平和の尊さを発信することができた。

生涯スポーツの推進

平成25年度に策定した「平生町スポーツ推進計画」が4年目を迎え、その計画の基本施策として、健康及び体力の保持増進のためにラジオ体操の普及啓発を掲げており、

曾根・佐賀・大野・平生まち・むら地区のコミュニティ協議会の主催で「ラジオ体操会」が開催されており、スポーツ推進員等による指導が行われた。また8月15日に『夏期ラジオ体操・みんなの体操会』が平生町体育館・武道館を会場として開催され、883人の参加者があった。健康・体力づくりの意識と実践意欲の高揚を図り、生涯スポーツを推進するためバレーボール大会等の各種スポーツ大会を開催した。なお、ファミリースポーツレクリエーション大会については、10月21日に参加者470人で開催された。「平生町駅伝競走大会」については、全長11.9kmのコースにより、5区間の部門と7区間の部門に43チームが参加した。

平成30年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	文化活動を推進します		
事業名	明治150年記念事業		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	明治改元150年を記念し、郷土の維新の志士である「白井小介」に関連する様々な事業を実施し、町内外に広く紹介する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・白井小介 パンフレットの作成 (3,000部) ・白井小介 案内看板の作成 (田布路木顕彰碑付近) ・特別展示「白井小介展」の開催 7月13日～12月23日 ・歴史講座「明治維新と四境の役」の開催 8月25日(土) 		
事業の対象	町民		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	270 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	0 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る

<p>判定説明考察</p>	<p>・平成30年は、明治150年を迎える年であったことから、全県的に明治150年を記念する様々な行事が開催された。平生町では、郷土の維新の志士である「白井小介」を紹介するものとし、小介に関するパンフレットの作成や案内看板の設置により、機運の醸成と推進を図った。</p> <p>・平生町教育委員会の取組としては、特別展示「白井小介展」を開催し、期間中600人を超える入館者があった。また、「明治維新と四境の役」と題した歴史講座を開催し、明治維新に活躍した平生町の維新の志士について、広く情報発信することができた。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/>30年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>明治150年記念事業を活かしつつ、来町者が気軽に郷土の歴史に触れられるよう、引き続き情報発信に努められたい。</p>
-------------	---------------------------------------------	---------------	---------------------------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	青少年健全育成活動を推進します		
事業名	平生町成人式		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	平成30年度に20歳を迎える新成人に対し、町と地域でお祝いする。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・二十歳の誓い ・出席した新成人に広島広域都市圏ご当地WAONカード進呈 ・記念写真・図書カードを贈呈 ・「平生で働く人々」動画上映 ・ふるさと平生の魅力PR抽選会開催(ふるさと納税返礼品提供事業者が祝い品を提供) 		
事業の対象	町民		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	187 千円	232 千円	228 千円
決算額に占める特定財源額	-	- 千円	- 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新成人に対しお祝いの気持ちを伝えると共に、大人になったことの自覚を促す。 ・平生町に縁のある新成人に対し平生町の魅力発信等定住等に繋がる取組を通じて、町の活性化に繋げる。 ・ふるさと納税返礼品提供業者から無償で提供を受けた商品を用いて抽選会を行うことにより、式を盛り上げると共に、自分たちが地域からも祝福を受けている事を実感することにより、郷土愛の醸成を図る。
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>平生町の魅力を発信する企画内容を取り入れられたい。また、成人者の自主的な企画も取り入れるなどの工夫もされたい。</p>
-------------	-----------------	---------------	----------------------------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯学習を推進します		
事業名	平生町秋の文化行事		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	町内各地域交流センターで活躍している文化協会加入団体や各種生涯学習団体・町内小・中学校、高等学校が日頃の学習成果の発表を行うと共に、平生町の文化に功績のあった団体や個人の表彰を行う		
事業の内容	11月3日(土) ・平生町総合文化展開会式 ・生涯学習表彰式 ・平生町総合文化展 ・ふれあいコンサート ・屋外バザー 11月4日(日) ・平生町総合文化展 ・町民音楽祭 ・屋外バザー		
事業の対象	町民		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	63 千円	43 千円	78 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下まわる

<p>判定説明考察</p>	<p>・30年度は、平生町文化展が50回の節目を迎える年であったため、例年の表彰に加え平生町の文化行政に功労のあった方に記念表彰(10年に1回)として、町長感謝状、教育長感謝状が贈られ、その功績を讃えることができた。</p> <p>・市内の小・中学生と熊毛南高校の生徒が一堂に会するふれあいコンサートは、貴重な行事となっている。</p> <p>・2日間に渡る文化行事が低予算の中、ボランティアで運営され開催できる事は、平生町の生涯学習に対する意識の高さがうかがえ、生涯学習の推進を図るための重要な事業となっている。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</p> <p><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了</p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>文化展の出展協力や人材の育成を図り、継続して開催できるよう工夫をされたい。</p>
-------------	-----------------	---------------	----------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	青少年健全育成活動を推進します		
事業名	未来を担う平生っ子の育成促進事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	青少年健全育成活動を地域で展開する町民会議地区会議に対して、各地区の独自事業の取り組みを支援することにより、心豊かな平生っ子の育成を図る。		
事業の内容	・青少年育成町民会議地区会議(7地区)が実施する地域活動(工作教室・クリスマス会・ケーキ作り等)の活性化を図るため助成金を交付する。		
事業の対象	町民		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	82 千円	87 千円	87 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下回る

<p>判定説明考察</p>	<p>・平成24年度から実施している育成促進事業は平成30年度で6年目を迎えた。事業開始から毎年度全ての地区会議から申請があり、事業を十分に活用していることが伺える。また、地域の方々が子どもを育む事業の貴重な財源となっている。</p> <p>・各地区会議において、事業内容を毎年見直すことにより、子ども達の参加意欲の向上を図る努力が見られる。併せて、3世代交流などの要素を盛り込むことにより、地域の活性化や、郷土愛の醸成にも寄与している。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</p> <p><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了</p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>子どもたちの参加意欲の向上や地域の活性化につながるよう事業費の確保に努められたい。</p>
-------------	-----------------	---------------	--------------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域が連携した生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯学習社会の実現を推進します		
事業名	勤労青少年ホーム教養講座		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	若者に新たな趣味や教養にふれる機会を提供することを通して、若者の生きがいや仲間づくりを創出する。		
事業の内容	<p>年間に3講座を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーバリウム講座(5/12) 近年、人気が高まっている「ハーバリウム(※1)」を制作する講座を開催し、大人12名+子ども5名(※2)の計17名が参加した。 ※1 植物標本の意。ドライフラワーやプリザーブドフラワーを小瓶に入れ専用のオイルに浸したインテリア雑貨。 ※2 親子での参加 ・硬式テニス教室(5/9～6/27) 毎週水曜日19時30分から20時55分までの講座で、延べ61名【H29年度:39名】の参加があった。平生町硬式テニス連盟に指導を依頼し、硬式テニスの基礎技術を学んだ。 ・料理教室 平生町食生活改善推進協議会に講師を依頼し、「平生の味 おふくろの味 料理教室」と題して、和食を中心とした郷土料理の調理実習、会食を行った。 1月26日・・料理3品 参加者9名 		
事業の対象	町内在勤・在住の若者		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	33 千円	43 千円	30 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 減少
	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	<input type="checkbox"/> できていない		
事業の評価	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
	<input type="checkbox"/> できていない		
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
	<input type="checkbox"/> できていない		
内部評価	B	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下回る

<p>判定説明考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度までは、町内在勤・在住で概ね35歳までの若者を対象に実施していたが、少子高齢化や健康寿命の延伸などにより、『若者』の定義する年齢層も高齢化していると考えられることから、平成30年度から、若者の年齢に関する定義をはずし、幅広い年代が参加できるようにしたところ、40代～60代の参加や、親子での参加もあった。 ・事業費としては、報償費のみ。原材料については、受講生の自己負担としている。 ・講師を町内で活躍している団体や個人に依頼しており、地域との連携は大きい。また、講座がきっかけとなり、受講者の町内行事への積極的な参加にもつながっている。 						
<p>事業の方向性</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: none;"><input type="checkbox"/>さらに重点化する</td> <td style="width: 33%; border: none;"><input type="checkbox"/>現状のまま継続する</td> <td style="width: 33%; border: none;"><input checked="" type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/>単年度で終了</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 単年度で終了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する					
<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 単年度で終了					

<p>外部評価</p>	<p>B</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>各世代に対応した講座内容を充実させ、今後の生涯学習活動につなげられたい。</p>
-------------	-----------------	---------------	---------------------------------------------

平成30年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯スポーツを推進します		
事業名	スポーツ推進事業(町内駅伝競走大会)		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	スポーツの推進と親睦融和を図り、併せて生涯スポーツ推進の一環として町民のスポーツに対する気運を醸成する。		
事業の内容	平生中央児童館前を出発、佐賀小学校をゴールとする平生町内を走る全コース11.9Kmの駅伝競走大会を実施する。小学生・中学生女子・一般2部・一般女子の部は7区間で、中学生男子・一般1部の部は5区間で行う。 体育協会陸上部とスポーツ推進委員協議会が主管となり、多くのスポーツボランティアの協力で運営されている。		
事業の対象	町内団体(学校、企業、地域)		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費(決算額)	973 千円	978 千円	1,103 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
	B	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下回る

判定説明考察	<p>参加申請チーム数43チーム(小学校:6チーム、中学校男子:13チーム、中学校女子:7チーム、一般1部:4チーム、一般2部:11チーム、一般女子:2チーム)の申込があった。</p> <p>平成27年度は雨天予想により、小学校の部が不参加となり5部門での開催であったが、29年度は28年度に引続き、全部門(6部門)での開催となった。</p> <p>近年のマラソンプームの影響と思われるが、一般の参加チームが増えてきている。</p> <p>その一方で駅伝の運営については多くのスポーツボランティア(中継所役員、交通安全指導員、集計担当等)が必要であるが、人員の確保に毎年苦慮している状況である。</p> <p>交通事情も60年前とは変わりかなり危険なところをコースとしているため、警察から警備員などの配置を求められるところもあり、警備会社への委託料も増えている。</p> <p>バスの借上げ料も大幅に値上がりされた。</p> <p>児童数の減少に伴い将来的に佐賀小学校がチームを組めない状況になりえる。</p>
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	B	評価委員意見	<p>歴史ある駅伝競走大会であるが、児童生徒数の減少や交通事情によるコースの見直しやスポーツボランティアの確保等、時代の変化に対応できる運営体制を構築されたい。</p>
------	----------	--------	--------------------------------------------------------------------------------------